

## 山城春雄氏/紅白綬有功章

南カリフォルニアに在住し、長く造園業に携わり、アメリカの日本庭園造形に貢献したとして、大日本農会南カリフォルニア支部より紅白綬有功章に沖繩系三世 山城春雄さんが表彰された。山城さんは20年前の1982年に緑白綬有功章を授章しており、今回の紅白はその一段階上位のものであり、さらにその上位に紫白綬有功章がある。去年度の県人会会長も務め、建設的な新アイデアを導入してその発展にも多大なる寄与をしてきた。

大日本農会南カリフォルニア支会(野崎住吉支会長)は12月9日在ロサンゼルス日本国総領事公邸で、第86回農事功績表彰伝達式を行った。紅白綬有功章に二人、緑白綬有功章に三人、合計五人に河野雅治在ロサンゼルス日本国総領事が受賞者に伝達し、それぞれに賞状と記念品がおくられた。大日本農会(桂宮宣仁親王総裁)は日本に本部を置き、毎年、国内外で農業などの普及、発展に功績があったと認められた者を表彰している。

山城春雄さんは1931年与那城町生まれ、三世、71才、前原高校卒(三期生)。17才で渡米、ロサンゼルス市立短期大学卒後、UCLA, USCで造園の特別講座を受講し、29才の時公式造園技師の免許を取得、本格的な造園業にたずさわる。36才の時全米造園技師協会ロサンゼルス支会の会長を務めた。日本庭園の造園を主体とし、南カリフォルニアを始め、テキサス、シカゴ、メリーランド、セントルイスまで足を運んでその建設に従事した経歴を持つ。多くの名誉ある受賞をした。

当銘貞夫(北米通信員)

写真は山城春雄家親族と県人会役員ら、左から5、6番目河野総領事夫妻、7、8番目が山城春雄夫妻。